



みんなで取り組む
千葉の教育

県教委 NEWS

Vol.329

3月-2号

令和6年3月発行

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1
電話 043-223-4015

県立特別支援学校における県制 150 周年記念事業の取組み

県立特別支援学校の児童生徒が、千葉県 150 周年の歴史や文化を知り、郷土に対する関心を高めるとともに、記念品の制作・販売等を通じて、地域の方々等との交流を深め、共生社会の推進を目指すことを目的として、本事業に取り組みました。

1 記念ラベルシール作製【応募期間：令和5年6月～ デザイン決定：令和5年8月】



<流山高等学園デザイン>



<市川特別支援学校デザイン>

大・小 2 種類のオリジナルの記念ラベルシールを作製するため、特別支援学校の児童生徒等にデザインを募集したところ、17校から94作品の応募があり、左記のデザインに決定しました。各特別支援学校において作業製品に貼るなどして、活用しました。

2 カプセルトイによる缶バッジ販売【令和6年1月19日(金)～】

各特別支援学校がオリジナル缶バッジを作製し、2個入り100円でカプセルトイを販売しました。各特別支援学校の販売会等でたいへん好評だったようです。



<オリジナル缶バッジ 一例>



3 メタバースで交流会開催【令和6年2月16日(金)】



インターネット上の仮想空間（メタバース）に各特別支援学校がブースを設定し、各学校のアバターが外部からの参加者と会話（音声・チャット）をとおして交流しました。学校間で生徒同士のやりとりができて、メタバースを活用して交流を図ることができました。



お問い合わせ先：教育振興部特別支援教育課
電話：043-223-4230

インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
特別支援学校における 県制150周年記念制作事業について	1
インデックス&ミニ・トピックス	2
令和5年度第11回 千葉県教育委員会会議の内容について	3
令和5年度『遊・友スポーツランキングちば』 年間取り組み状況について	4
令和5年度「魅力ある県立学校づくり」大賞 (特別賞:県立下総高等学校)	5
令和7年度(6年度実施) 千葉県・千葉市公立学校 教員採用候補者選考案内について	6
「子どもと親のサポートセンター」の 新たな事業について	7
単位制高等学校で聴講生を募集します	8
「家庭教育支援チーム」の活動の 推進に係る文部科学大臣表彰	9
県内学級担任紹介 (山武市立蓮沼小学校)	10
「令和5年度県教委ニュース」掲載記事一覧	別冊
イベント情報 (生涯学習課・文化振興課・競技スポーツ振興課)	別冊

県立袖ヶ浦高等学校が東京情報大学と高大連携教育に関する協定を締結

県立袖ヶ浦高等学校では、令和6年度入学生から情報コミュニケーション科に設置される「先進ITコース」における、数理・データサイエンス・プログラミング等の学びを充実させるため、東京情報大学と高大連携協定を締結しました。

令和6年3月12日(火)に県庁にて、調印式が行われ、県立袖ヶ浦高等学校、東京情報大学の双方から、本協定への期待の声が聞かれました。



東京情報大学 布広学長(左)と県立袖ヶ浦高等学校 佐藤校長(右)が協定書に調印を行いました。

県教委 NEWS



各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

◎さらに情報をお知りになりたい方、ご意見のある方は、次のアドレスにアクセスしてください。

県教育委員会ウェブサイト : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/index.html>

フォトニュース : <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-index.html>

ご意見・ご提案メール : https://www.pref.chiba.lg.jp/form/kyouiku_iken_kyouiku/form.html

<アンケート>

[県教委ウェブサイトを使いやすくするためのアンケートにご協力ください。](#)(←ここをクリック)

令和5年度第11回千葉県教育委員会会議（定例会）の内容について

開催日 令和6年2月7日（水） 議案及び報告は以下のとおりです。

《 審議事項 》 （議 案）

第74号議案 千葉県指定有形文化財の指定について

第75号議案 千葉県登録文化財の登録について

第76号議案 学校職員の懲戒処分について

（報告議案）

第11号報告 教育委員会所管に係る令和6年度当初予算案について

第12号報告 教育委員会所管に係る令和5年度2月補正予算案について

第13号報告 職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の原案について

第14号報告 使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の原案について

[問い合わせ先：043-223-4004 企画管理部教育総務課]

ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/soumu/press/2023/060207-2.html>（第11回結果）

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 教育委員の活動（1月・2月） ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

委員視察 ～学校を核とした1000か所ミニ集会～

令和6年1月26日（金）、白井市立大山口小学校で「学校を核とした1000か所ミニ集会」が行われ、貞廣委員と花岡委員が視察を行いました。

「子供をネットトラブルから守るには」をテーマに、インターネットによるトラブルや犯罪等の実態についての講話後、PTA本部役員、保護者、学校評議員、地域の方など様々な立場の方が参加し、意見交換を行いました。

「困った時に相談相手になろう」・「使う際は、子供とルールを決めよう」・「保護者世代も知識をアップデートしよう」と意見がまとまりました。



貞廣委員



貞廣委員



花岡委員

第11回教育委員会会議

令和6年2月7日（水）、第11回教育委員会会議にて、櫻井直輝委員から委員就任にあたり、ご挨拶がありました。



櫻井委員

いきいきちばっ子コンテスト

令和5年度『遊・友スポーツランキングちば』年間取り組み状況について
流山市立小山小学校 年間大賞に輝く！

「遊・友スポーツランキングちば」では、本県の児童・生徒の体力向上と社会性の育成を目的として、令和5年度から通常開催され、10の運動種目を実施しています。年間を前期（4/3～6/30）、中期（9/1～11/30）、後期（12/1～2/29）の3期に分け、記録を募集しました。通常開催にあたり各期及び年間大賞授与を4年ぶりに再開しました。

～年間大賞授賞校及び各期大賞、年間授賞校～
【遊・友スポーツランキングちば年間大賞】

流山市立小山小学校 282回

【遊・友スポーツランキングちば大賞(前期)】

柏市立柏の葉小学校 112回

【遊・友スポーツランキングちば大賞(中期)】

流山市立小山小学校 91回

【遊・友スポーツランキングちば大賞(後期)】

流山市立南流山小学校 276回



中西教育振興部長お祝いの言葉



遊・友スポーツランキングちば年間大賞授与



集合写真

【年間賞】

学 校 名	申込数	備考
流山市立小山小学校	282	年間大賞
白井市立池の上小学校	277	年間賞
流山市立南流山小学校	276	年間賞
柏市立柏の葉小学校	225	年間賞
流山市立長崎小学校	194	年間賞
鎌ヶ谷市立五本松小学校	174	年間賞
八街市立八街北小学校	147	年間賞
いすみ市立太東小学校	143	年間賞
船橋市立大穴小学校	125	年間賞
船橋市立前原中学校	97	年間賞

【年間取り組み状況】

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
参加学校数	175	29	2	9	215
報告数	4131	532	49	88	4800
参加率	23.5%	8.0%	2.4%	20.9%	16.9%

※参加学校数とは、記録の報告が1回以上あった学校で、申込数とは記録更新の報告があった数です。

令和5年度の結果について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/taiiku/ranking/taisyou.html>

参加校、参加率ともに年々増加しています。特に前・中期の参加率、中学校、県立学校の参加率をさらに上げたいと考えております。「遊・友スポーツランキングちば」を活用し、体力づくりに向けた積極的な取り組みをお願いいたします。活用事例としては、投力向上のために「新聞棒投げ」を年間通して実施したり、「遊・友スポーツランキングちば」に全校児童が取り組めるようなイベントを行ったりしている学校があります。また、千葉県では、体育授業以外に1週間でトータル7時間（420分）体を動かすことを目安としていきます。ぜひ、「遊・友スポーツランキングちば」に取り組んでいただき、運動の楽しさを知り、運動するきっかけづくりとなるよう積極的に活用ください。

【この件についての問合せ先】 教育振興部保健体育課学校体育班 TEL043-223-4108

地域資源を活用した園芸科の取り組み

令和5年度「魅力ある県立学校づくり大賞」特別賞

千葉県立下総高等学校

本校は、下総台地のほぼ中央にある成田市に位置し、今年で124年目を迎えた「園芸科」「自動車科」「情報処理科」の3学科からなる県内唯一の総合専門高校です。昭和41年に、自営者養成農業学校として文部省の指定を受け、現在でも園芸科1年生を対象に義務入寮を行っている県内で唯一寮のある公立高校です。「ものづくり・人づくり・夢づくり」を学校教育目標に、規則正しい共同生活を通し職業人としての資質・能力を育む教育活動に取り組んでいます。

本校は、ユネスコスクールに加盟しており、園芸科では日頃からSDGsの実践を視野に入れて活動しています。今回、園芸科野菜専攻の生徒を中心に地域資源の利用をテーマに大きく分けて2つの取り組みを進めました。

1つ目は、特定外来生物「チャンネルキャットフィッシュ」を利用した野菜栽培の実践です。本校から北へ2キロほどの場所にある利根川では近年、「チャンネルキャットフィッシュ」通称アメリカナマズが大繁殖、緊急対策外来種として扱われています。本校では、印旛沼漁業協同組合の協力を得て学習を深め、地域で困っているこのチャンネルキャットフィッシュを原料にした有機液肥の培養に成功しました。液肥を使って栽培した野菜は、近隣地域での移動販売の他、学校近くにある「直売所しもふさ」での販売も行いました。「直売所しもふさ」では、「しもこうエコ野菜」として特設コーナーで販売し、メロンの販売では、ChannelCatFish「CCF（シーシーエフ）メロン」としてブランド化を図り、地域で困っている資源を使い、微力ながらも地域の活性化に貢献することができました。



2つ目は、成田国際空港との連携です。成田市内にある成田国際空港では現在、第3滑走路（C滑走路）の造成工事が行われています。工事では、大量の樹木の伐採が行われその処理が課題とされており、本校では排出された樹木チップを野菜栽培に利用、堆肥化を図っています。栽培した野菜の販売は学校前で行い、多くの近所の方が購入してくださいました。また、成田国際空港株式会社の方を本校農場に招き、樹木チップの活用状況を報告、栽培したメロンの試食をしていただきました。



さらに、各種販売会やイベントでは、取組についてパネル展示を行い、生徒による解説を行いました。特に、チャンネルキャットフィッシュの駆除を目的とした小見川アメリカナマズ釣り大会では、大会参加者の方々から「すごい取り組みだね」「応援しているよ」などと声をかけてもらうことができました。

関係機関からは、「外来魚から有機液肥ができることに驚いた」「ぜひ漁協前で栽培した野菜の販売会や外来魚の農業利用についてPRを行ってほしい」「堂々と取り組みを説明する生徒さんの姿に驚いた」「今後、空港の社員食堂に下総高校の野菜を提供してほしい」などの声がありました。活動を行った生徒からは「この活動を通し、自信と誇りを持つことができました」「後輩たちに繋げられるように精力的に続けていきたい」などの声が聞かれました。

全体を通した成果として、外来生物由来の液肥と樹木チップを併用した野菜の栽培から販売までの流れを確立することができました。また、令和5年7月26日に行われた、第72回千葉県学校農業クラブ連盟研究発表大会プロジェクト発表分野Ⅱ類（開発・保全・創造）の部では、「外来魚を利用したメロン栽培」を発表題目とし、2位を受賞することができ、今後の活動への自信を得ることができました。

今後もこの一連の活動を継続して行うとともに関係機関とのさらなる連携強化を目指し、地域に根差した魅力ある学校づくりを積極的に取り組んでまいります。

令和7年度千葉県・千葉市公立学校 教員採用候補者選考

千葉県・千葉市が
求める教員像



- ① 人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員
- ② 高い倫理観をもち、心身ともに健康で、明朗、快活な教員
- ③ 幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員
- ④ 幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員
- ⑤ 組織の一員としての責任感と協調性をもち、互いに高め合う教員

変更点及び新たな取組

千葉県地域枠の新設

県内高校で教員基礎コース等に関する課程
修了者 **20名程度**

「元教諭特例選考 B」の新設

第1次選考**免除**、第2次選考は**個別面接のみ**
(8, 10, 1月に選考実施)

「社会人特別選考」の受験内容変更

第2次選考「模擬授業」を「**プレゼンテーション**」
に変更

千葉県受験会場の集中実施

第1次選考を「**幕張メッセ**」等で実施

兵庫県会場の受験教科拡張

兵庫県会場(第1次選考) **全校種・全教科**等の
選考を実施

海技士資格取得採用延伸制度の新設

海技士資格を取得する場合、**採用の延伸**が可能
(高校水産)

奨学金返還補助事業の新設

第一種奨学金貸与者の対象者全員の返還金を
全額支援

出願期間

令和6年4月1日(月)～5月10日(金)

第1次選考

令和6年7月7日(日)



X (旧 Twitter)



千葉県・千葉市公立学校教員
サイト「**千の葉の先生になる**」

採用選考の
最新情報は、
こちらから！

県教委の HP では実施要
項、志願書等がダウンロ
ードできます！

千葉県教育委員会

検索

教員採用選考のお問い合わせ
教育振興部教職員課任用班
TEL:043-223-4043

「子どもと親のサポートセンター」の新たな事業について

◆ワンストップ・オンライン相談

若者向け相談窓口として、スマートフォンからアクセスできる新たな相談窓口を設置し、オンライン相談を受け付けます。(仮称)ちばスタディネット教育相談室とも連携します。Web予約は令和6年3月18日から、相談は令和6年4月1日から開始です。

- ◇対象 千葉県在住、在学の十代の若者
小学4年生から高校3年生くらいまで 若年無業者を含む
- ◇内容 相談時間 月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで
1回40分、1日7コマ以上
利用アプリ「Zoom オンラインミーティングアプリ (フリー)」
- ◇申請手順 子どもと親のサポートセンターホームページで1か月前から Web 予約受付
- ◇ホームページのURL : https://cms2.chiba-c.ed.jp/kosapo/reserve_online

◆SNS 相談対象者拡大 小学4年生以上に

これまで、中高生を対象としていましたが、小学生の問題行動増加を受け、小学4年生以上に対象者を拡大しました。小学生のLINE 利用を推奨するものではありませんので、アプリのインストールは保護者同意の上でお願いします。令和6年4月1日から開始です。

- ◇対象 千葉県在住、在学の十代の若者
小学4年生から高校3年生くらいまで 若年無業者を含む
- ◇内容 相談時間
毎週火、木、日曜日の午後6時から午後10時まで1回60分以内
4月24日から5月8日まで、8月23日から9月7日まで、1月4日から1月11日までは毎日実施します。
- ◇申請手順 子どもと親のサポートセンターホームページ「SNS 相談@ちば」から右の二次元コードでLINE アプリを読み取り、友だち追加してください。メッセージを送ると、専門のカウンセラーが相談に応えます。

◆来所相談+ (プラス)

＜遠方在住者や引きこもり生徒、感染症など来所困難者向け対策＞

来所相談のうち、何らかの事情で来所できない場合にオンライン相談を利用する補助機能です。デジタル化が急速に進む社会情勢や生活様式の変化に合わせ、県民向けサービスの利便性向上のため、Zoom オンラインミーティングアプリを使用し、パソコンやタブレット、スマートフォンの画面を通して相談します。来所—オンラインの併用もできます。第1回目からフルオンラインでもできます。

令和6年4月8日開始。

- ◇対象 千葉県在住、在学の児童生徒、保護者など
- ◇内容 相談時間
月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで
1回40分
利用アプリ「Zoom オンラインミーティングアプリ (フリー)」
- ◇申請手順 フリーダイヤルから来所相談を申し込み、相談担当者を決定後、来所相談+ (プラス) を開始します。
フリーダイヤル0120-415-446
申込み受付時間は午前8時30分から午後4時30分まで
詳しくは、子どもと親のサポートセンターホームページ「来所相談」から PDF ファイルをご覧ください。

単位制の高等学校で聴講生を募集します

聴講生制度は、県立高等学校が地域における学びの拠点となるとともに、多様な学習機会の確保を図ることを目的としています。

令和6年度は、以下の学校で聴講生を募集します！

在学する生徒とともに、4月から1年間学んでいきます。

申し込み方法や内容等、詳細については、直接、希望する高等学校にお問い合わせください。

※定員、申込期限等は、学校によって異なります。お早めに！

※受講に当たり、受講料および材料費等が発生いたします。

○実施予定高等学校

- ・県立千葉工業高等学校（定時制）

Tel 043(264)6251

予定講座：電気実習2、電気実習3、課題研究

- ・県立幕張総合高等学校（全日制）

Tel 043(211)6311

予定講座：中国語A1、フランス語A1、絵画入門、書表現

- ・県立千葉大宮高等学校（通信制）

Tel 043(264)1981

予定講座：世界史探究、倫理、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、物理基礎、
生物基礎、地学基礎、音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰ、情報Ⅰ

- ・県立市川工業高等学校（定時制）

Tel 047(378)4186

予定講座：機械工作、機械設計、原動機、自動車工学、製図（電気系）、電気回路、
電気基礎、電力技術、電子技術、建築施工、建築法規、建築計画、
実習（電気系）、実習（建築系）

- ・県立東葛飾高等学校（定時制）

Tel 04(7143)4271

予定講座：国語表現

- ・県立八街高等学校（全日制）

Tel 043(444)1523

予定講座：中国語

- ・県立佐原白楊高等学校（全日制）

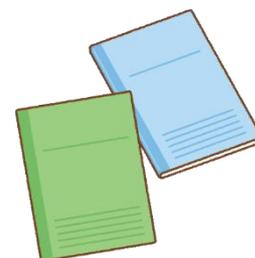
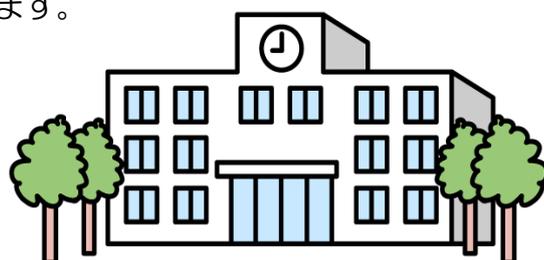
Tel 0478(52)5137

予定講座：エアロビクス、陶芸、韓国語、中国語

- ・県立館山総合高等学校（定時制）

Tel 0470(22)2242

予定講座：文学国語、歴史総合、
数学A、生物基礎、地学基礎、
英語コミュニケーションⅠ



お問い合わせ先

千葉県教育庁 教育振興部

学習指導課 高等学校指導室

Tel 043(223)4058

「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰

文部科学省では、全ての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、保護者の身近な地域における家庭教育支援活動の一層の推進を図るとともに、「家庭教育支援チーム」の優良事例の広報、研究の進展及び認知度の向上に資することを目的に、特色ある優れた活動を行っている「家庭教育支援チーム」を表彰しています。

今年度は、全国で20団体が、千葉県内からは1つの団体が特色ある優れた活動を行っている団体として認められ、令和6年2月に文部科学大臣表彰を受賞しました。

令和5年度 受賞団体

睦沢町家庭教育支援チーム（長生郡睦沢町）

【活動の概要】

核家族化や共働き、ひとり親家庭の増加、地域社会とのつながりの希薄化等が進んでいるため、子育てに悩みや不安を抱える保護者が孤立し、家庭教育が困難な状況が続いています。そうした中で、睦沢町家庭教育支援チームは、地域人材を活用することで身近な課題を掘り起こし、解決に向けた活動を行っています。さらに、家庭教育力の向上を通し、学校・家庭・地域が連携・協働するコミュニティ・スクールの推進にも寄与しています。

【特色ある取組】

① 保護者への学びの提供

小・中学校の家庭教育学級をはじめ、家庭教育講演会や、こども園の親子座談会、子育てサークルとの懇談会を実施し、情報交換をしています。保護者の意見や要望を聞きながら、家庭での不安解消や地域全体としての家庭教育の啓発に努めています。

② 地域の居場所づくり

学校の授業等になじめない児童の居場所として「フリースペースひだまり」の運営に携わり、児童の見守りや保護者との交流を通し、子育ての不安解消に努めています。

③ アウトリーチ型家庭教育支援

学校行事や学童保育、居場所づくり等を通じて、家庭教育に悩む家庭の情報を集め、チーム員がそれぞれのケースに対応しています。また、チーム全体でも情報を共有しながら対象家庭を地域の場へと引き込み、必要に応じて福祉部門とも連携しています。

④ 家庭教育アンケート

テーマを決めてアンケートを取り、家庭教育の状況把握をしています。保護者の意識や問題点を掘り起こし、結果を「家庭教育支援チームだより」にて周知しています。



＜親子座談会の様子＞

【今後の展望】

行事に参加できない保護者や家庭教育の意識が希薄な保護者もいることから、導入の切り口を変えるなどの工夫と、チームでの常設窓口(スマイル窓口)の開設、子どもと保護者がともに参加できるイベントなどを地域や企業等と連携して実施したいと考えています。また、各種アンケートを続けることにより、現役世代の考えの把握と家庭教育への意識づけを進めて、支援チームの活動の幅を広げていくこととします。

【お問い合わせ先】 教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 電話043-223-4167

県内学級担任紹介

日々、児童生徒のよりよい成長を願い、魅力溢れる授業実践や学級経営を行っている先生方を紹介します。その先生が日々の授業や学級経営を行う上での根幹となっている考え方、またよりよい実践のためにどのような工夫をしているのか、その秘訣も紹介します！

学校名：山武市立蓮沼小学校



担任名：辻 小鈴

教員経験：14年

(令和6年2月1日現在)

学級経営で取り組んでいることや「やりがい」

「友達と一緒にだともっと楽しい！」と感じられるように、レクや隙間時間にミニゲームを行うなど、“仲間のよさ”を感じられる活動を意図的に取り入れています。

授業で心掛けていること

「わかった！できた！」という達成感を味わわせ、『学びは楽しい』と感じさせることを大切にしています。「誰一人取り残さない」という視点での支援を常に心掛けています。

私の好きな「こ・と・ば」

『全力！』です。子供たちの大切な人生に関わる者として、子供たちと日々全力で向き合っていきたいと思っています。

【個の学びを充実させるICTの活用】

タブレット端末等のICT機器を活用し、子供たちが自分に合った学び方を選択できるようにしたり、自分の成長を客観的に振り返ったりできるようにしています。

(上) 音楽科：鍵盤ハーモニカの学習
オンラインの学習コンテンツを活用した練習を取り入れています。自分が選んだスピードモードで、運指が視覚的にわかりやすく表示されるため、個々のレベルに合わせた練習を行うことができ、苦手な児童にとっては特に有効です。

(下) 国語科：音読の学習
ヘッドセットを使って音読の様子を各自で録画し、記録を残しています。過去の自分の音読と比較しながら振り返ることができ、課題や成長した点をより見つけやすくすることができます。

する様子

学習コンテンツを活用し、
鍵盤ハーモニカの練習を



音読を録画する様子

この件についてのお問い合わせ
企画管理部 教育政策課
電話043-223-4015